

ワークショップ

「大腸カプセル内視鏡の普及に関わる諸問題-臨床から検診まで」

司会 江崎 幹宏（佐賀大学医学部内科学講座消化器内科）

中村 正直（名古屋大学消化器内科）

2020年4月より、コントロール不良の高血圧や慢性閉塞性肺疾患などの基礎疾患を有し大腸内視鏡が困難な患者、放射線医学的に大腸過長症と診断された患者など、大腸カプセル内視鏡(CCE)に関する新たな保険適用が追加された。通常大腸内視鏡検査実施困難な患者において、CCEは大腸器質的疾患診断において貢献し得ると考えられるが、前処置や全大腸観察率などCCE普及に影響を及ぼす諸問題が存在するのも事実である。本ワークショップでは、日常臨床から検診に至るさまざまな面におけるCCEの利点や問題点、さらには検査の工夫に関する演題をご発表いただき、情報共有できる場としたい。